

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|---|-------------------|
| ○事業所名 | MyStepジュニア 南森町教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7 年 2 月 3 日 | | ～ 令和 7 年 3 月 10 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 5 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 2 月 3 日 | | ～ 令和 7 年 3 月 10 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7 年 3 月 20 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 教育界出身者、心理指導担当職員を多く配置し、専門性の高い支援ができることと、当社独自の最大75項目におよぶ発達チェックリストに基づいた評価を基軸に、緻密なアセスメントをおこなうことで、当児の能力および家庭のサポート力において実現可能な具体的実行策を立案、遂行することを強みとしています。 | 文字・図形・数量などの情報を多角的な視点から捉えるための支援、行動の結果を検証し、感覚や認知の偏りに気づくことで、改善に向けた支援を実施しています。 | 発達特性に応じた、より具体的な個別提案、効果的支援策の立案と実行ができるよう、産学提携による研究も含めた研究体制を拡充していきます。 |
| 2 | | 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上させ、状況に応じた姿勢保持を意識するための支援、書字の統制を取ることができるよう促すことで、目と手の協応動作や巧緻性を向上させるための支援を実施しています。 | |
| 3 | | 言語能力とコミュニケーション手段の獲得を促すための語彙の獲得支援、言語活動を通じて表現力や思考力を高めるための支援、表情や動作などの非言語的な情報からも相手の意図をくみ取ることができるための支援を実施しています。 | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 1対1を基軸にした個別療育による効果的な発達支援の実施ができていることには高い評価をいただいているが、小集団も含めた集団性における社会性発達のための、効果的プログラムの充実がまだ不十分であるところは改善が必要だと考えています。 | 保護者、通所児童のニーズが個別療育および学習機能の向上にあるため、小集団での支援の頻繁な実施は難しい状況にあります。 | 心理教育プログラムなどでのより実践的な支援プログラムの開発、導入をおこない、「生きた社会性」の獲得を目指していきたいと考えています。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |